

## 平成 16 年度 第 5 回常任委員会 議事録

日時：平成 16 年 12 月 17 日（金） 14:00 から 17:30

場所：土木学会 EF 会議室

出席者：丸山委員長、石橋、上田、魚本、梅原、大津、岡沢、金津、河野、坂井、堺、佐藤(勉)、佐藤(良)、島、鈴木、十河（代理：入矢）、竹田、武若、辻、手塚、富田、二羽、松岡、宮川、睦好、山本、六郷、渡辺、前川幹事長、井上・宇治・中村・三島・横田の各幹事、橋本・山野辺・杉山・大野の各オブザーバ

### 配付資料

- 5-0 平成 16 年度 コンクリート委員会 第 5 回常任委員会 議事次第
- 5-1 平成 16 年度 第 4 回常任委員会 議事録（案）
- 5-2-1 「2005 年制定コンクリート標準示方書規準編」における JIS 規格の転載について
- 5-2-2 「2005 年制定コンクリート標準示方書規準編」における JIS 規格転載の検討事項
- 5-3-1 吹付けコンクリート研究小委員会説明資料
- 5-3-2 吹付けコンクリート施工指針(案)各編の目次
- 5-3-3 吹付けコンクリート施工指針(案)各資料編の目次
- 5-3-4 吹付けコンクリート施工指針(案)に対する常任委員からの意見への対応
- 5-3-5 吹付けコンクリート施工指針(案) [トンネル編]
- 5-3-6 吹付けコンクリート施工指針(案) [のり面編]
- 5-3-7 吹付けコンクリート施工指針(案) [補修・補強編]
- 5-3-8 吹付けコンクリート関連の試験方法
- 5-3-9 吹付けコンクリートに関する試験方法等に対する意見回答書
- 5-4-1 土木学会コンクリート標準示方書による道路橋の性能照査型設計計算例
- 5-4-2 土木学会コンクリート標準示方書耐震性能照査編を満足する設計マニュアル(案)
- 5-4-3 土木学会コンクリート標準示方書耐震性能照査編を満足する設計マニュアル(案)の概要
- 5-4-4 土木学会コンクリート標準示方書の耐久性の照査を満足する設計マニュアル(案)
- 5-4-5 コンクリート標準示方書に基づく照査事例「栈橋のコンクリート上部工」
- 5-4-6 コンクリート標準示方書 [維持管理編] に基づくコンクリート構造物の維持管理事例集（案）
- 5-5-1 アルカリ骨材反応対策小委員会報告書（案）
- 5-5-2 アルカリ骨材反応対策小委員会報告書（案）に対する意見回答書
- 5-6 電子 Newsletter・英語版ホームページ TG の設置について
- 5-7 示方書小委員会環境側面検討部会常任委員会中間報告
- 5-8 鉄筋継手指針改訂小委員会委員構成
- 5-9-1 ローマコンクリート調査小委員会 委員構成
- 5-9-2 吹付けコンクリート研究小委員会 委員構成
- 5-9-3 PC 構造物の現状の問題点とその対策に関する研究小委員会 委員構成
- 5-9-4 弾性波法の非破壊検査研究小委員会（第 2 期） 委員構成
- 5-9-5 コンクリート構造物のヘルスマonitoring 研究小委員会（第 2 期） 委員構成
- 5-9-6 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会 委員構成

- 5-9-7 コンクリート - 地盤境界問題研究小委員会 委員構成
- 5-10 平成16年度コンクリート委員会会計状況(12/15現在)
- 5-11 平成17年度ジョイントセミナー助成申請書
- 5-12-1 中国土木水利工程学会 - 土木学会ジョイントセミナー報告
- 5-12-2 中国土木水利工程学会 - 土木学会ジョイントセミナーのプログラム
- 5-13 J S T向けWeb教材作成提案書
- 5-14 新潟中越地震第一次調査報告書 - 5 . 橋梁構造物の被害 -
- 5-15-1 表面含浸材の試験法(案)への修正意見並びに回答書
- 5-15-2 表面含浸材の試験方法(案)
- 5-15-3 表面含浸材の試験方法(案) - 解説
- 5-16 「表面保護工法設計指針(案)に関する講習会」開催のご案内
- 5-17 2<sup>nd</sup> International fib Congress First call for papers
- 5-18-1 市民が学会とともに考える東京の地震防災 - 開催案内
- 5-18-2 CARDによる米国災害予防トレーニング - 開催案内

#### 議事：

##### 1. 委員長挨拶

丸山委員長より、委員会開始にあたっての挨拶があった。

##### 2. 前回議事録の確認(平成16年度第4回常任委員会)

資料5-1の平成15年度第4回常任委員会議事録(案)が承認された。

##### 3. 審議事項

###### (1)規準編と規格協会との調整

梅原委員、中村課長(土木学会)より、資料5-2-1、5-2-2に基づき、「2005年制定 コンクリート標準示方書規準編」におけるJIS規格の転載についての経過報告がなされた。従来型の転載は許可されず、特別編集版を土木学会が買い上げ、規準編とセット販売する方向で規格協会と調整中であるとの説明がなされた。魚本委員より、コンクリート委員会のメンバーがJCI等を通してJIS規格作りに大いに協力しているので、できるだけ安い価格になるよう協議して欲しいとの意見が出された。丸山委員長、魚本委員、辻委員の協力を仰ぎながら、出版事業課でさらに価格交渉を進めることで了承された。

###### (2)吹付けコンクリート研究小委員会・指針(案)

魚本委員、橋本小委員会幹事長より、資料5-3-1から5-3-9に基づき、吹付けコンクリート施工指針(案)の主な修正点についての概要説明がなされた。さらに、[トンネル編][のり面編][補修・補強編][試験方法]の詳細については、各編の主査よりそれぞれ説明がなされた。

丸山委員長よりスケジュールの確認がなされ、3月末までにライブラリ原稿を完成させ、6、7月に講習会を開く予定であるとの回答がなされた。また、以下のような議論がなされた。

1)要求性能の水準や書き方のトーンが各編で異なっているので見直すべきという指摘に対しては、小委員会側で再度調整することとなった。

2) [補修・補強編]では設計も扱っているので「設計・施工指針」のタイトルの方が良いのではとの指摘については、吹付けコンクリートは設計というレベルにないので、現状で行きたいとの回答がなされた。

3) 試験方法については、規準関連小委員会でもチェックすることとなった。

4) 各編での用語の統一を再度見直して欲しいとの指摘については、適切に対処することとなった。

試験方法へ意見や上記以外の指摘については、平成17年1月7日までに意見回答書を橋本小委員会幹事長あてに提出することで了承された。

### (3) 示方書小委員会・設計例

魚本委員より、2月中に原稿を仕上げ、3月中には講習会を行う予定という全体スケジュールの説明がなされた。竹田委員より資料5-4-1に基づき、道路橋の性能照査型設計計算例についての説明がなされた。次いで、石橋委員より資料5-4-2から5-4-4に基づき、鉄道構造物の設計マニュアルおよびそれに基づいた試設計例についての説明がなされた。横田委員より資料5-4-5に基づき、栈橋のコンクリート上部工の照査例について説明がなされた。さらに、武若委員より資料5-4-6に基づき、コンクリート構造物の維持管理事例集について説明がなされた。これらの説明に対して、以下のような議論がなされた。

1) 睦好委員より、各編のタイトルを統一して欲しいとの指摘がなされ、これについては適切に対処することとなった。

2) 丸山委員長より、照査結果を審査する側のシステム作りも重要である点が指摘された。

3) 山本委員より、コンクリート標準示方書をさらに普及させることが主目的なので、その目的に沿った事例集になっているかどうか、今一度チェックして欲しいとの指摘がなされた。これに対して、石橋委員より、マニュアル作りは示方書の使い方の事例のひとつと考えており、それ以外の事例についても全体的に目的に合致したものになっているとの考えが示された。

4) 魚本委員より、示方書の将来を担っている、示方書連絡調整小委員会の委員の意見を聞くことも重要であるとの指摘がなされた。

これらの議論を踏まえて、平成17年1月14日までに意見書を小委員会に提出し、それへの対応は平成17年2月2日開催の示方書小委員会に一任された。また、講習会は平成17年3月30日(10:00AM~5:00PM)に開催することが承認され、土木学会2月号に会告を掲載できるよう事務局側で準備を進めることとなった。なお、2月2日の小委員会への常任委員の出席を歓迎し、その際には旅費を支給する旨のアナウンスが委員長よりなされた。

### (4) A S R 報告書案

宮川委員より、資料5-5-1に基づき、アルカリ骨材反応対策小委員会の報告書(案)の概要説明がなされた。平成17年1月7日までに、意見書を提出することで了承された。次回常任委員会(平成17年3月8日)に修正案を提出する。

### (5) 示方書英訳原稿

上田委員より、[構造性能照査編]と[維持管理編]の原稿修正は終了し、年内に印刷される予定であるとの説明がなされた。[耐震性能照査編]については12月中に原稿修正が完了予定であり、全体的にほぼ予定通りに進んでいる。また、武若委員より、[施工編]の修正は完了していないが、近いうちに内容チェックに回せる状況になる予定であるとの説明がなされた。審議の結果、これらの説明通りのスケジ

ユールで進めることが了承された。

(6)電子ニューズレターの発刊について

堺委員より、資料 5-6 に基づき、電子 Newsletter・英語版ホームページ TG の設置についての説明がなされた。審議の結果、TG の委員構成、電子 Newsletter の形態および内容、創刊号の発行時期・内容については提案通りで承認された。なお、睦好委員より英語版ホームページを整備すべきであるとの意見がなされ、これについても TG にて対応することとなった。

(7)環境側面検討部会の指針作成について

堺委員より、資料 5-7 に基づき、示方書小委員会環境側面検討部会の活動状況、成果物概要ならびに今後のスケジュールについて説明がなされた。武若委員からの指針あるいは試案のどちらになるのかとの質問に対しては、完成した時点で考えたいとの回答がなされた。また、丸山委員長より「側面」という用語を使う必要があるかどうかとの指摘がなされた。説明内容については了承された。

(8)三陸南地震被害分析報告書

梅原委員より、平成 16 年 11 月 18 日に講習会が無事終了した旨の報告がなされた。また、口絵部分のカラー写真（中越地震の被害状況を含む）を CD 販売したいとの提案がなされ、了承された。

(9)日本学術会議材料研究連合講演会実行委員長推薦

井上幹事より、日本学術会議材料研究連合講演会実行委員長の推薦について説明がなされた。坂井委員を実行委員長に推薦することが提案され、了承された。なお、森川先生（神戸大学）に引き続き実行委員をお願いすることとなった。

(10)日韓台共同の英文論文集検討委員の選出

前川幹事長より、日韓台共同の英文論文集検討委員会（岩熊 WG 主査）よりコンクリート委員会に委員選出の依頼があった旨の説明がなされた。審議の結果、コンクリート分野の動きと当英文論文集の動向には十分に注意を払う必要があることが確認され、全体を見ながら、堺委員（国際関連小委員会）に委員として参加して頂くことで了承された。

(11)鉄筋継手指針改訂小委員会の設置

石橋委員より、資料 5-8 に基づき、土木学会理事会にて研究委託が受理されたので、継手指針改訂小委員会を設置したいとの説明がなされ、承認された。

(12)小委員会委員の追加、交代

丸山委員長から資料 5-9-1 から 5-9-7 に基づき、各小委員会の委員変更についての説明がなされ、承認された。なお、魚本委員から「コンクリート - 地盤境界問題小委員会」で扱う問題は新潟県中越地震の被害状況と関連しているのかとの質問がなされ、前川小委員会委員長から小委員会設置時点での検討分野ではないが、関連が深いことを鑑み、既に検討を開始した旨、回答があった。

(13)その他

特になし

4. 報告事項

(1)平成 16 年度予算の支出状況

前川幹事長から、資料 5-10 に基づき平成 16 年度予算の支出状況について、順調に執行されている旨、報告がなされた。114 ローマコンクリート調査小委員会(予算 100 万円)の活動経費に関しては、特別会計の支出項目に追加されたことが報告された。

(2)国際関連小委員会国際セミナー提案申請

堺委員より、資料 5-11 に基づき、平成 17 年度のジョイントセミナー助成申請書を提出した旨の説明がなされた。申し込みを行った委員会は鋼構造委員会とコンクリート委員会のみであり、採択される見通しであるが、共に相手方はベトナムとなっていることが報告された。

(3)台湾セミナー報告

堺委員より、資料 5-12 に基づき、台湾とのジョイントセミナーの終了報告がなされた。同時開催のアジア会議に出席していたモンゴル代表から、ジョイントセミナーの申し出があったことが披露された。これについては、国際関連小委員会にて具体的な対応方法を検討することとなった。

(4)ローマコンクリート(ソンマ遺跡)調査報告

坂井委員より、平成 16 年 11 月 26 日から 12 月 1 日まで、ソンマ遺跡にて現地調査を行った旨の報告がなされた。50kg 程度のサンプルを持ち帰ったので、委員会活動を本格的に始動する予定である。また、タルクニア遺跡では、水中に長期間浸かっていたコンクリートが見つかる可能性があり、こちらも興味深いものとして、活動の一環に含めることが報告された。

(5) JST 向け Web 教材の申請について

三島幹事より、資料 5-13 に基づき、JST 向け Web 教材作成提案書を土木学会技術推進機構に提出した旨の報告がなされた。武若委員より、「コンクリートは孔だらけ」の表現に違和感があるとの指摘がなされ、採用された際には十分に配慮して対応することとなった。

(6)電力施設解体コンクリート利用検討小委員会・指針(案)

河野委員より、アルカリ骨材反応関連の試験が終了したので、2 月までに指針を完成させ、平成 16 年 3 月 8 日の委員会にて審議をお願いしたい旨の説明がなされた。

(7)新潟県中越地震報告

睦好委員から、資料 5-14 ならびにスライドに基づき、平成 16 年 10 月 27、28 日に実施したコンクリート構造物の第一次被害調査の概要についての説明がなされた。特に、地震波の特徴、鉄道構造物・道路構造物・長岡高専の被害状況などが報告された。

(8)表面含浸材の試験について

宮川委員より、資料 5-15-1 から 5-15-3 に基づき、表面含浸材の試験方法への修正意見および回答書についての説明がなされた。

(9)コンクリート構造物のヘルスマニタリング研究小委員会の委員会報告

三島幹事より、コンクリート構造物のヘルスマニタリング研究小委員会の委員会報告が土木学会論文集第 5 部門に投稿されている旨の報告がなされた。3 種委員会の報告であるので、幹事団で内容チェックを行い、修正事項があれば小委員会委員長に連絡することが確認された。

(10)JSCE Guidelines for Concrete No.2 について

宇治幹事より、JSCE Guidelines for Concrete No.2 が 1 月中旬に刊行される予定であるとの報告がなされた。No.3 は、構造性能照査編になる予定であることの説明があった。

(11)規格・規準類の英訳化に対する ISO 対応特別委員会助成申請

宇治幹事より、表面含浸材の試験方法等の英訳に 40 万円が助成されることになったことの報告がなされた。

(12)表面保護工法設計施工指針（案）に関する講習会

山本委員より資料 5-16-1 に基づき、表面保護工法設計施工指針（案）に関する講習会が平成 17 年 4 月 26 日（東京）と平成 17 年 5 月 10 日（大阪）に開催される旨の報告がなされた。

(13)その他

- ・資料 5-17 に基づき 2nd International fib Congress の開催が案内された。
- ・資料 5-18-1,2 に基づき、阪神淡路大震災 10 周年行事についての案内がなされた。
- ・二羽委員より、超高強度繊維補強コンクリート指針の英訳を進めたいとの提案があり、了承された。
- ・丸山委員長より、第 2 種委員会を設置し、「補修・補強指針の制定」に取り組みたいとの説明があった。

5. 委員長選挙

前回常任委員会で確認された選挙方法に従って投票が行われ、丸山現委員長がコンクリート委員会の次期委員長に再任された。開票は魚本前委員長、中村幹事、鈴木学会事務局長の立ち会いのもとに行われた。

6. その他

特になし

以上